

# 平成29年度第1回登別市教育委員会会議録

日 時 平成29年4月27日（木）午後4時30分

場 所 ホテル平安

## 第1回 教育委員会議事日程

- 1 日 時 平成29年4月27日（木）午後4時30分
- 2 場 所 ホテル平安
- 3 議 案 報告第1号 教育委員会事務局職員の人事異動発令に係る臨時代理について  
議案第1号 登別市スポーツ推進委員の委嘱について
- 4 情報提供
  1. 平成28年度学校運営協議会実施状況について
  2. 平成29年度登別市立学校児童生徒数・学級数調書について
  3. 平成29年度登別市立学校主要行事について
  4. 平成29年度学校施設の工事計画について
  5. 平成29年度登別市小中学校「校長会」「教頭会」三役等について
  6. 登別市立鷺別小学校旧校舎の解放について
  7. こいのぼりマラソンの申し込み状況について
  8. 不登校児童生徒出現の状況及び減少に向けた取組について

### 出席者

#### （教育委員会5名）

教育長	武 田	博
委員	垣 内	登紀子
委員	森 口	達
委員	赤 井	秀 輝
委員	堅 田	裕

#### （事務局9名）

教育部長	佐 藤 史 彦
教育部参与	野 崎 均
教育部次長	橋 場 太
総務グループ建築主幹	出 口 利 美
学校教育グループ総括主幹	田 中 道 郎
学校教育グループ学務主幹	小野島 晶
社会教育グループ総括主幹	安 部 直 也
学校給食センター長	小 森 仁
図書館長	綿 貫 亨

○武田教育長　それでは、本日の委員会は、5名全員が出席されておりますので、有効に成立していることを報告いたします。これより、平成29年度第1回教育委員会を開催します。本日の議事は、報告1件、議案1件になります。それでは、早速議事に入ります。報告第1号「教育委員会事務局職員の人事異動発令に係る臨時代理について」事務局から説明をお願いします。

○橋場教育部次長　議案書1ページになります。平成29年4月1日付けの事務局職員の人事異動について臨時代理を行いましたので、報告を行い、承認を求めるものであります。3ページをご覧ください。まず、説明の前に部長職の再任用についてであります。今年度より再任用の制度が改正となりまして部長職は部長職で再任用することができるようになりました。これは28年度に退職する部次長が7名おりまして、後任となる職員との年齢が離れ過ぎているため、業務経験や年齢から引継ぎがスムーズにいかないために改正となったものです。

それでは異動内容になります。左側が新所属、右側が旧所属となっております。部長職には再任用職員として佐藤部長が引き続き務めることになりました。主幹職は、小野島主幹が幌別小学校から学校教育グループ学務主幹に任用となっております。次に主査職になります。柴田主査が税務グループから学校教育グループへ、平塚主査は所属に異動はありませんが主査へ昇格となっております。鈴木主査は学校教育グループから図書館への部内異動となっております。担当員では、山路担当員が所属に異動はありませんが、短時間勤務の再任用、堀本担当員は高齢・介護グループから給食センターへ、佐藤担当員は社会福祉グループから図書館への異動となっております。教育委員会からの異動では、田中担当員が社会教育グループから総務グループへの異動となっております。教育部全体の配置は5ページから7ページまでの名簿を見ていただければと思います。

嘱託職員につきましては、学校教育グループになりますが、学校司書の田鍋さんが新たに任用となり4名体制となりました。ALT支援コーディネーターの小森さん、草塩さんはALTの世話役ということで新しくできた職種になります。郷土資料館の館長は吉野館長から元若草小学校校長の傳法先生が担うこととなりました。以上の内容になりますが、これらについて臨時代理を行いましたので、承認をお願いしたいと思います。

○武田教育長　ただ今説明がありました報告第1号について、ご質疑ございませんか。

(「ありません」の声あり)

○**橋場次長** 職員の人数は28年度の4月1日と変わりありませんが、平塚主査が昇格しておりますので、その分担当員が減となっています。

○**武田教育長** それでは、報告第1号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**武田教育長** それでは、報告第1号については、承認いたします。次に議案第1号「登別市スポーツ推進委員の委嘱について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○**安部社会教育グループ総括主幹** 議案第1号「登別市スポーツ推進委員の委嘱について」説明いたします。議案書は8ページになります。登別市スポーツ推進委員15名のうち5名が平成29年4月30日で任期満了となるため、スポーツ基本法の規定により委員の委嘱をするものであります。5名のうち再任が3名、新任が2名となっております。任期は平成29年5月1日から平成31年4月30日までの2年間となっております。なお、資料9ページの上から2つ目の表になりますけれども非改選委員のうち藤木晴夫さんと永澤雄さんの2人から辞職届が提出されている状況でございます。現在後任の方を探しているところです。他に平成29年の5月31日で任期満了となります上野精二さんがおりますので、その再任の委嘱と合わせまして次回5月の教育委員会に議案として提案することを申し添えます。以上ご審議の程よろしく願いいたします。

○**武田教育長** ただ今、議案第1号について説明がありましたけれどもご質疑ございませんか。改選期に合わせて2年を新たにということと。又、辞職願が出ているところには、次の機会を利用するということですか。ありませんか。

(「ありません」の声あり)

○**武田教育長** それでは、議案第1号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○**武田教育長** それでは、議案第1号については承認します。

以上で本日の議事は全て終了しましたが、その他、事務局から情報提供などありましたらお願いします。

**【情報提供案件】**

**○野崎教育部参与** 平成28年度学校運営協議会実施状況について情報提供したいと思います。お手元の資料A3版の資料をご覧くださいと思います。表記が小さくて申し訳ありません。各学校におきましては年間3回、多いところでは若草小学校で5回、登別小学校で4回、学校運営協議会を昨年度行っております。議題につきましては、学校の経営方針について承認をいただくほか、各教育活動の説明、実施状況、学校評価の結果などを通して学校の運営状況をお知らせするとともに、土曜授業の計画ですとか、学力・体力の向上に関してですとか、放課後学習の充実の様子ですとか、挨拶の励行ですとか、いじめ不登校の対応の様子ですとか、道徳教育の取組や地域との避難訓練の状況、地域行事の参加や伝統芸能の継承、地域交通安全の取組のお願いですとか、生活習慣改善に関わる理解についてなど話し合う内容は多岐にわたっております。主な意見としましては、地域と学校の連携体制が出来上がってきているというものが多くある一方で、保護者や地域がもっと学校へ足を運ぶことで児童・生徒への理解が進み、地域とともにある学校づくりが一層進むという意見もございました。感想としましては小学校から継続して子ども達と関わることで変化ですとか、成長を見ることができるとか、何より挨拶をする関係ができてうれしいという声が多くあるというのを聞いております。又、登別中学校と登別小学校は11月24日に合同で行っているというところがございます。その際には小中一貫で取組む内容を説明したり、子ども達の体力向上に向けて幼稚園も入りまして、幼稚園、小学校、中学校の取組を交流したりする場面もあったと聞いております。交流資料を活用しまして他の協議会の様子を各学校へ情報提供するとともに各学校の運営協議会でも取り上げていただいて、他の地域も参考にしてもらいながら地域とともにある学校づくりがさらに進むように今年も働きかけてまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

**○武田教育長** 情報提供は全て終わってから質問を受けたいと思います。

**○田中学校教育グループ総括主幹** 私からは資料4ページと5ページになります。まず、4ページ、29年度の児童数・学級数になります。小学校につきましては2,187人、前年同期比でマイナス52人と2クラス相当になります。特別支援については76人、前年比プラス20人と大幅に増えております。これについては、新1年生は勿論なのですが在籍している児童で普通学級から特別支援の学級替えですとかを含めての数となっています。学級数につきましては特別支援で富岸の肢体不自由が1クラス開設になった分です。普通学級は変動なしです。教職員については

加配が減っておりますので、プラスマイナスほぼ0人となっておりますが0.5人というのが出ています。これは富岸の主幹教諭の加配が2・3年前までは1人換算だったのですが、2年くらい前からは0.5人換算となりましたので講師を選ぶか再任用のハーフの短時間を選ぶのかということで、今までは講師を選んでおりましたが、今年度は再任用のハーフを選びましたので、その場合については教員数にカウントするというルールになりますので0.5という端数が出ています。

中学校につきましては、生徒数1,128人前年比マイナス57人でこちらも2クラス相当となります。特別支援に関しましてはマイナス3人と例年と前年比でほとんど変わりません。学級数につきましてはマイナス4で普通学級が4クラスも減っております。これは西陵中が1、緑陽中が3ということで緑陽の方が例年にない減り方になっております。当然その影響で教職員数もマイナス4人の98人となっております。児童生徒合計で3,315人、小中学校合わせれば109人の減少となっております。

次に5ページは29年度の各学校の主要行事の一覧となっております。各学期の始業式終業式は記載のとおりです。小学校の運動会は6月3日が1校、10日が4校、17日が3校となっております。小学校の修学旅行については8校全てが9月に実施をします。今年度は全校が函館方面へ行きます。因みに昨年は東小学校だけが札幌へ行っていたのですが今回は全校が函館となっております。中学校につきましては5月に5校全て行きまして宮城・岩手あたりを中心に秋田へ行くところもありますし青森もあります。ほぼ農村での民泊が主になっているような形です。往復新幹線を利用するのが3校、復路だけが1校、幌別中学校につきましては行き帰り飛行機ということで、人数によって割高で、特に現地に行つてのバスが20数人でも大型を使わなければなりませんので、そういう部分を含めてトータルの費用の関係でいろいろ学校の方で考えていただいております。

あと、家族の時間プロジェクトにつきましては、1月26日から28日までの3連休ということで昨年と同じ時期になっております。なお、プレ実施につきましては温泉の日帰り入浴を28年度初めて実施しましたが、継続する形で旅館組合にお願いしています。なお、家族の時間づくりプロジェクトにつきましては今年で5回目となりますので既に新聞等でご承知かと思うのですが、中小企業の父兄の方からとか休めないということがアンケートにありますので、取りあえず5年ということで一区切り終了して新たにプレ実施の形、これは学校も休みを作らなくていいと、家

庭も当然休まなくていい、日常生活の中で利用できるようなそういった方法を30年度から作って継続をしていきたいと趣旨は悪くはないのでそういう形で関係機関と協議をしているところです。

土曜授業の方です。今年度は最高が6回で幌別中と若草小です。5回が富岸小と緑陽中、残りの9校は4回になっています。因みに昨年は10回以上がモデル事業で幌別中学校がなっていたのですが、今年度は最高が6回でモデル事業の対象外となっております。やはり先生方の振替だとか学校行事のやり繰りが大変ということが実際にありまして、そのような事情が5回程度でお願いしている状況です。説明は以上です。

**○出口総務グループ建築主幹** 私の方からは今年度の学校施設の工事計画の内容について説明いたします。資料は6ページをご覧ください。まず小学校です。鷺別小学校の校舎が完成しました。今年度は外構整備とグラウンドの整備です。工事は既に始まっておりまして1月までの工事期間となっています。次に富岸小学校の地下タンクの改修工事で7月から12月までの工事期間となっています。鉄棒の取替工事も7月から12月までの工事となっています。

次に中学校です。登別中学校の耐震改修工事、これを6月から3月の工事期間の間で行いたいと思います。渡り廊下の改築工事と便所洋式化工事も同じ工事期間でやりたいと思っています。次に西陵中学校の校舎屋上防水改修工事これを7月から12月までの間に行いたいと思います。

その他としまして、来年度の耐震改修工事を予定しております富岸小学校と幌別西小学校の実施設計の委託を5月から2月の間に行いたいと思っております。以上でございます。

**○橋場次長** 次に、平成29年度登別市小中学校「校長会」「教頭会」三役等になります。校長会、教頭会それぞれ会長は変更になっていません。副会長と事務局が変更になっている状況となっています。ご覧いただければと思います。

**○武田教育長** その他の情報がございましたらお願いします。

**○出口建築主幹** はい。資料はございませんが鷺別小学校の旧校舎の内覧会の開催について説明いたします。6月から旧校舎の解体を予定しておりますので、その前に見ていただくということです。内覧の日時は、5月20日（土）と21日（日）、27日（土）から31日（水）までの期間で午前10時から午後3時までとなっております。当日は職員玄関と児童玄関を開放しまして自由に見ていただくというこ

とを考えております。車で来られた方は玄関の近くに止めていただくということで考えております。周知は新聞報道も考えておりますし、市のホームページにも掲載する予定となっております。以上でございます。

○橋場次長 合わせて東京げんきかいとか札幌のぼりべつ会とかも出身者がおりますので文書を送付しております。

○森口委員 解体期間というのはいつまでですか。

○出口主幹 6月から8月いっぱい。大体3月くらいかかる予定です。

○橋場次長 それが終わってから外構工事に入っていきます。

○出口主幹 校舎周りにはもうやっているのですが、旧校舎のところは解体が終わってから始めることとなります。

○武田教育長 次の情報をお願いします。

○安部総括主幹 資料は用意しておりませんが、5月14日（日）に開催されます第42回登別こいのぼりマラソンについて情報提供させていただきます。前回大会がエントリー数600名で実施しましたが、今回はまだ未確定ですが約940名がエントリーということで前回と比較して300名以上の大幅な増となっております。ゲストランナーは今回呼べなかったのですが実行委員会での地道な誘客活動が実を結んだと考えておりまして、大会が盛り上がってくれるのではと思っておりますけれども、逆に運営面で交通規制とか、駐車場の問題ですとかいろいろ出てくると思っておりますけれども、実行委員会一同事故なく開催できればと思っております。以上です。

○野崎参与 不登校児童生徒の出現の状況というプリントを配っております。不登校という括りに入る児童生徒は、病欠以外のその他の理由で年間30日以上というお子さんたちが不登校という形でここに数字を載せているところでございます。過去6年間の流れでございますけれども下の出現率というところを見ていただければと思います。ご覧のように本市の場合は年々減っているという状況でございます。比較していただければと思いますが、27年度の全国の出現率と全道の出現率を載せておりますので、ご覧になっていただければと思います。具体的に本市においては、2枚目になりますが、本市の不登校児童生徒への総合的な支援体制という形で、学校を中心としましてスクールカウンセラーですとか、日常的な相談を受ける心の教室の相談員の方々、更には教育指導室を設けておりまして、元校長先生の八田教育指導専門員を配置しまして学校と連携を取りながら関係機関ともつながりその状況



に応じた対応を適切に行っていただいております。月ごとに各学校から欠席の状況の報告をもらいその数字を見ながら早期に対応していけるような体制をとっております。専門員も学校の方に訪問しまして内容を聞いたり、対応の仕方で助言を行いながら進めているところでございます。日常的な相談でこのような状況がありますという連絡も教育委員会に入ることがあります。今年度も1件入りましたが、そういう場合に専門員が直接対応しまして学校と連携をして早期に対応するという流れになっております。また、特徴的な部分が教育指導室という括りの中の右下のところですが、体験教室というところがあります。陶芸体験や郷土資料館体験と書いておりますけども、具体としましては、新聞報道とかテレビの報道でご承知のところかと思っておりますけども健千窯の取組というような形でなかなか学校に足が向くことができない子ども達に働きかけをして生活のリズムを作って家庭での会話も話題作りを含めながら登校意欲を高めていくということに取組んでいたり、去年は鷲別岳の登山というのも夏休みに企画しまして不登校の子どもたちに声をかけて3名の子ども達が参加しております。確か頂上まで行ったのは1名だったと聞いておりますけどもそのような働きかけをしながら総合的に不登校の児童生徒への支援というのを行っているという現状です。新聞記事の方は私どもも卒業式に参加させていただいて、今年の場合は8名の子ども達がお世話になっていて、次の学校に進んでいく子ども達がいます、津村さんから直接「よく頑張ったね」と卒業証書を渡して4月からの意欲化を図っているというところでございます。以上でございます。

**○武田教育長** その他ありますか。

(「ありません」の声あり)

**○武田教育長** それでは情報提供が全て終わりましたのでご質疑等ございませんか。

**○垣内委員** ひとつ教えていただきたいのですが、先ほど学校施設の工事計画をお示ししていただきましたが、耐震の設計の委託とか実際の工事で未実施のところがあります。今後のシミュレーションといたしますか、計画を教えてください。

**○出口主幹** はい。耐震改修工事は、平成32年に完了予定となっております。まだ残っているところですが、30年度は富岸小学校と幌別西小学校を予定しています。ただ幌別西小学校は2カ年を予定して30年・31年で行う予定です。その他には登別小学校と幌別中学校が残っています。これを32年までに行う予定です。今年度は登別中学校を行います。それから幌別東小学校も32年度に行います。

**○垣内委員** 全て32年度には終了予定ということでよろしいでしょうか。分かり

ました。

○**武田教育長** 今年の秋口あたりには統廃合を含めて適正配置の議論をしなければいけないと。だからといって直ぐ決まるわけではないですが、時間もかかります。耐震化の計画は計画として進めていくと。適配の議論もまた並行して進めていかなければならないというふうに思っていました。おそらく秋口位からのスタートになると思います。

○**垣内委員** やはり耐震ということは地元の人のみならず、すごく興味を持ってどこまで進んでいるかということは数値で評価されるようなので。

○**武田教育長** そうですね。今年は少しうちの数値が上がるのですね。

○**出口主幹** 70%いっています。

○**武田教育長** 鷺別小学校がね。

○**垣内委員** 29年度で70%ですね。

○**出口主幹** そうです。

○**武田教育長** あと幌別西小学校のように棟によって建築年度が違うところがいくらかカウントされます。1棟でない計算になります。

○**垣内委員** そういうところが多いですね。

○**出口主幹** 校舎ですね。一気に分子が上がってくるので率が上がってきます。

○**武田教育長** よろしいですか。他に何かありませんか。

○**堅田委員** 不登校のことなのですが、登別市の出現率は減少しているのですが全道・全国は27年度の数値しかないのですが、全国・全道的には増えているのではないかという気がしまして。

○**野崎参与** 26年度の全国の出現率は1.17で小学校が0.36、中学校が2.69となっていますので、26と27を比べますと小学校と中学校も微増しています。全道の場合は小学校で0.32、中学校で2.60ということでやはりここも微増していると。大きな流れではありませんが。

○**武田教育長** 昨年コミュニティ・スクールに絡んで26年から導入しましたが、それと同時に不登校児童が少なくなってきました。それで前にいた櫻井主幹が道のアドバイザーになっていたものですから、その話をしたらやはり地域づくりと関係あるのかなということで、そのデータを整理して文部科学省の予算要求の資料に活用したという情報をいただいていますので、具体的には個別には理由は分かりませんが何かトータルで地域のサポートや効果を上げているのかなということも一つ

の考え方だと思います。

○赤井委員 面白いというか。理由がはっきりしないというか見えづらい部分があるのですが、新聞なんかで見たら学力向上に関わって学校が勉強勉強というか、むしろ不登校の子どもがふわっと出てくるというかそういうような記事があって、これを見ると登別の数が少ないということで、私もすごいなという感じを受けているのです。だからどういうふうに考えたらいいのか。いまそういうコミュニティーの部分や八田専門員の取組など、いろんな形の対応があると思って、だけど基本は学校は楽しいところだということがあって、そういうところの見方がこういう数字とともに登別市の先生方、学校全体が、その他にも子ども自身も学校へ行って、そういうような部分でいろんな部分があるのかなと思っています。だからこれがもっともっと続けばいいなというか素晴らしいという感じを持っています。

○武田教育長 全国的な流れの中でも不登校対策というのは大きく取り上げられていて一時はいじめ不登校という一つの括りだったのですが、いじめは安定しているようなものではなく出たときの対応が大事になりますが、不登校は出現率からいつでも必ず出てくる。そこをどう復帰させるかということもありますので、国も不登校対策というのは項目を起こして支援する仕組みになっています。ですから全国的には今の文部科学省は不登校対策を非常に深刻な問題として受け止めているのかなと、結局、子どもがひきこもりになっていて、結局貧困対策とか就労の力とかそういう働き方にも影響を与えてくるということでそれをカバーしていこうというような、そういう国の動きもありますから、これからまだまだ不登校対策というのは色々な形で出てくるのかなというふうに思っています。

○垣内委員 不登校というのはご本人にとってもご家族にとってもつらい大変なことで出口が見えないというか、小学校・中学校のうちに味わってしまって一生それを引きずる可能性があるということは、本当に何とかしなければいけないということで、登別でもきめ細やかな対応をしてくださっているということで、そのことが実を結びつつあるのだと。再登校ということで年度に1人とか2人とかが登校できるようになったというデータをいただきましたが、ここが増えていくことを願っております。

○武田教育長 その他質問ありませんか。

(「ありません」の声あり)

○武田教育長 それでは、終了いたします。最後に5月の教育委員会の開催日につ

いて予定したいと思いますが、次回の開催日について、事務局の方で考えがあれば  
お願いします。

**○橋場次長** 5月の教育委員会につきましては、最終週の木曜日ですと25日にな  
りますが、いかがでしょうか。

**○武田教育長** それでは、事務局より提案のありました5月25日木曜日で皆様  
のご都合は如何でしょうか。

(「はい」の声あり)

**○武田教育長** それでは、5月の定例の教育委員会につきましては、5月25日木  
曜日16時30分から市民会館小会議室で開催するという事でよろしいでしょうか。  
詳細につきましては、後日事務局よりお知らせ頂くといい事でよろしいでしょうか。  
以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。